

【1】コンセプト

深く・品質の作り込み要因の掘下げを行い品質予防保全に取り組む活動の一つとして、良品解析を推奨しております。

- 再発の絶対的予防保全
- デフェクト・メカニズムの先取り
- 改善の裏の背反（品質リスクとトレードオフ）

目標は “Zero Defect”

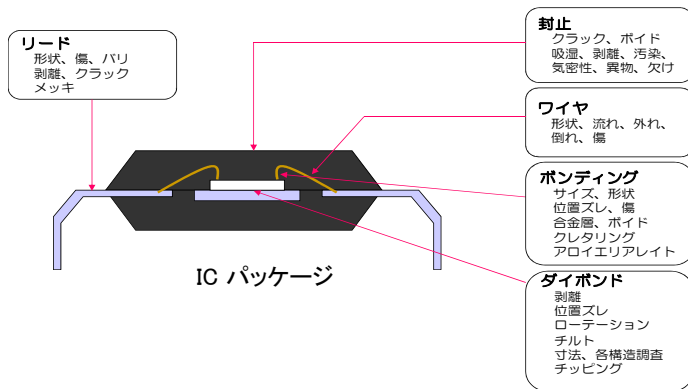
【2】背景

- 150社のメーカーの顧客クレーム事例データベースから抽出（改善・背反）
- 市場不具合レポートが、毎年約1000件以上を参考
- 工場監査、工程監査事例を参考
- デバイスメーカーのQC工程表を基にメニュー化
- 約20年以上の故障解析技術者の経験と実績

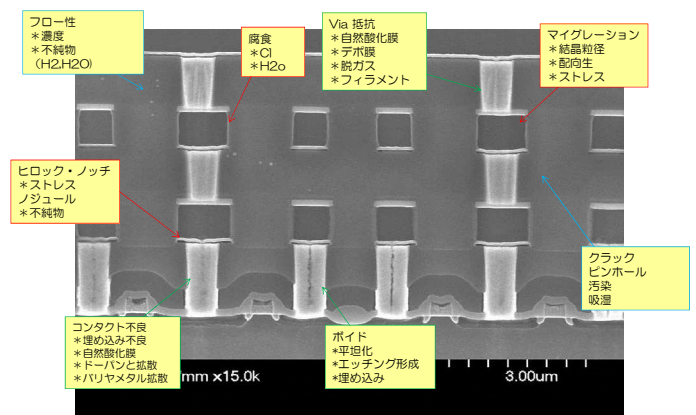
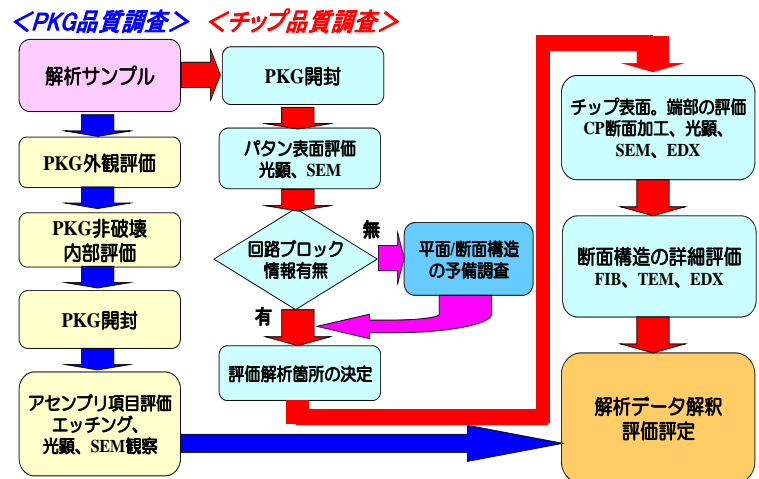
【3】活用方法

- 新製品の導入
- 新プロセスでの生産、初プロセスの生産
- 新テクノロジーを使用した生産
- 品質改善・4M変更時の背反確認
- 複数メーカーからの同一機能製品の選択
- 新工場の品質実力の把握
- 設計 VS 工程能力のバランス把握
- グリーン性の調査

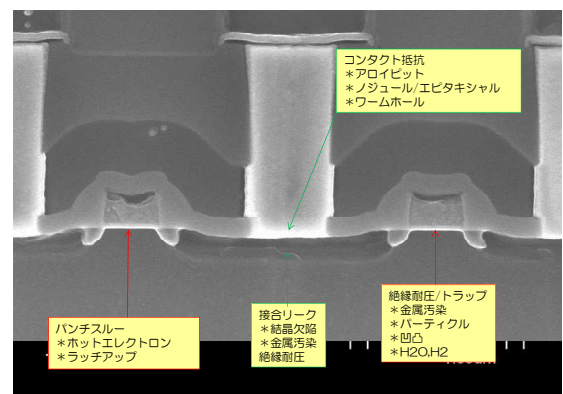
【4】故障メカニズム



【5】良品解析フロー



配線・層間膜領域



基板領域